

その1

平成29年度県立宜野座高等学校評価(自己評価・学校関係者評価)

1. 学校の教育目標	平和で安らぎと活力ある民主的な社会の形成者として、心身ともに健康で個性豊かな創造性・国際性に富む人間の育成を目指す	
	①目的意識を持ち、主体的に行動できる生徒を育てる	②豊かな人間性と社会性を身につけ、時代の変化に対応できる生徒を育てる
	③地域を愛し発展させ、国際社会に貢献できる生徒を育てる	④人権を尊重し、自他の生命を尊び、義務と責任を果たす生徒を育てる

2. 本年度の重点目標	〈学校経営〉	①凡事徹底と規範意識の向上 ②安全教育と事故防止の指導徹底 ③施設設備の整備充実と安全点検・維持管理の強化 ④家庭・地域・関係機関の連携 ⑤研修活動の充実 ⑥職員連携の強化 ⑦教職員評価システムの活用
	〈学校教育の充実〉	①朝学の円滑な実施による基礎学力の定着 ②単位未修得者への計画的指導 ③進路指導の充実強化(進路決定率95%以上、国公立大合格者10名以上) ④模試・検定・各種資格試験等の積極的な取組 ⑤専門機関と連携した教育相談活動 ⑥保健安全教育の充実と健康意識の高揚
	〈職員の資質向上〉	①職員の研修活動の推進 ②服務規律の遵守(不祥事0) ③報・連・相体制の確立 ④教職員評価システムの活用

評価項目	観 点	内部評価(%)				学校関係者評価	
		達成	やや達成	やや未達成	未達成	3点満点	意見等
		評価できる	評価できない				
教育目標	1 授業時数確保と家庭との連携を図った教育目標の実現	39.3%	53.6%	3.6%	3.6%	3.0	特進クラスの特色や実績が外部に伝わりにくいので、PRを工夫した方が良い。
	2 生徒の実態や地域の特性が活かされた教育課程の編成	35.7%	50.0%	10.7%	3.6%		
	3 全職員の協働体制と共通理解を図り、創意ある教育活動の展開	35.7%	50.0%	10.7%	3.6%		
	4 教育活動全体を通して特色ある学校作りの策定	21.4%	64.3%	10.7%	3.6%		
	5 国際化、情報化に対応する教育活動の展開	14.3%	64.3%	21.4%	0.0%		
評価項目回答の概要		教育目標については「評価できる」平均が約92%であり、目標達成について肯定的である。国際化については、来年度の海外修学旅行実施に向け、取り組みを進めている。					
教育計画	6 校務分掌間の連携と効果的な指導、支援	39.3%	42.9%	14.3%	3.6%	3.0	特になし
	7 危機管理マニュアル等を活用した安全指導の実践	39.3%	50.0%	10.7%	0.0%		
	8 教育活動の評価と課題の改善	28.6%	64.3%	3.6%	3.6%		
評価項目回答の概要		教育計画については「評価できる」の平均が約88%と肯定的である。危機管理マニュアルの作成は毎年検討、改訂を行っており、30年度も引き続き、安全教育と事故防止の徹底を図っていきたい。					

その2

評価項目	観 点	内部評価(%)				学校関係者評価	
		達成	やや達成	やや未達成	未達成	3点満点	意見等
		評価できる	評価できない				
教科指導	9 年間指導計画やシラバスを活用した授業の工夫と改善	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%	3.0	特になし
	10 習熟度別指導や個別指導による細やかな授業展開	64.3%	32.1%	3.6%	0.0%		
評価項目回答の概要		教科指導全体としては約96%が「評価できる」と回答している。教員定数の制約がある中、生徒の実態に即した習熟度指導や個別指導に最大限努力していると自己評価している。					
総合的な学習の時間	11 3年間を通した学習計画や体験学習によるキャリア教育の推進	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%	3.0	特になし
	12 進路意識の高揚と、自己実現のためのスキルの修得	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%		
評価項目回答の概要		総合的な学習についてはキャリア教育推進と、進路意識、自己実現を最終目標とした実践を行っている。次年度はキャリア教育推進協力校の指定が内定しており、新たな学習指導要領に対応した取り組みを進める予定である。					
特別活動	13 創意工夫あるHR活動や行事と生徒会活動等の活性化	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%	3.0	特になし
評価項目回答の概要		特別活動については約89%が「評価できる」と回答したが、行事計画や、生徒会活動は各年で活動内容が異なることから、年毎の見直しは必要となる					
生徒指導	14 その場指導の徹底と、問題行動の早期発見、個別指導の充実	53.6%	25.0%	17.9%	3.6%	3.0	自転車の安全指導もしっかり行ってほしい。
	15 生徒情報の共有化と教育相談体制の確立	60.7%	28.6%	10.7%	0.0%		
評価項目回答の概要		生徒の多様化により、きめ細かな指導の充実が求められる中、今年度は、県から月1回派遣される臨床心理士のアドバイスを受けながら、教育相談係を中心に生徒の抱える問題に対処した。					

その3

評価項目	観 点	内部評価(%)				学校関係者評価	
		達成	やや達成	やや未達成	未達成	3点満点	意見等
		評価できる	評価できない				
進路指導	16 生徒の個に応じた進路相談と各講座の充実	39.3%	50.0%	7.1%	3.6%	3.0	村外の生徒でも村営塾に入れることを受験生の保護者にも伝え方がよい。
	17 生徒の特性が発揮できる進路相談、講演会、適性検査等の充実	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%		
評価項目回答の概要		今年度は特に進路相談、進路講演会等の充実を図ることができた。また、AO入試や推薦入試に向けた個別指導や面接指導を組織的に行い進路指導の充実を図ることができた。					
健康安全	18 不審者対策や生徒の安全管理対策のマニュアル化と校内安全体制の確立	32.1%	64.3%	3.6%	0.0%	3.0	特になし
	19 学校保健委員会の円滑な実施	46.4%	53.6%	0.0%	0.0%		
評価項目回答の概要		定期的な注意喚起と安全指導により、重大な事件事故発生は抑止することができた。引き続き事件事故防止に向け、健康安全指導を継続していく。					
環境美化	20 清掃の徹底と教育環境の整備	32.1%	46.4%	17.9%	3.6%	3.0	特になし
	21 施設・設備の安全管理等、教育環境の確保	42.9%	50.0%	3.6%	3.6%		
評価項目回答の概要		広い敷地の環境整備をPTAと部活生の協力により良好に維持している。施設設備の補修・整備を迅速に対応すると共に、新多目的棟の改築工事を安全に進めることができた。教室内外の清掃の徹底は引き続き進めていきたい。					
研究研修	22 授業研究や自己研修への取り組みと教育活動の充実	32.1%	60.7%	7.1%	0.0%	2.5	特になし
	23 校内研修や授業観察等の実施による授業力の向上	42.9%	53.6%	3.6%	0.0%		
評価項目回答の概要		NIE教育実践指定校の指定とアクティブラーニング推進月間により、校内研修への取り組みが向上している。引き続き相互に学びあう職場環境を維持していきたい。					

その4

評価項目	観 点	内部評価(%)				学校関係者評価		
		達成	やや達成	やや未達成	未達成	3点満点	意見等	
		評価できる	評価できない					
家庭地域 社会連携	24	三者面談、学級懇談会や行事を通しての連携強化	17.9%	78.6%	0.0%	3.6%	2.5	中学生の生徒保護者にも宜野座高校の実績や魅力をしっかり伝えてほしい。
	25	保護者や地域への積極的な学校情報の公開	42.9%	53.6%	3.6%	0.0%		
評価項目回答の概要		PTAメールや学校ホームページのリニューアルで、学校の情報発信を積極的に進めた。今後も開かれた学校作りを推進し、家庭・地域との連携を進めていきたい。						
PTA活動	26	PTA連携強化および学校行事、PTA行事の活性化	28.6%	67.9%	3.6%	0.0%	3.0	特になし
	評価項目回答の概要		母親部会を中心とした高校総体・新人大会激励ランチ会の開催や行事の参加。PTA作業等が評価につながっている。					